

へびの脳って知っていますか？

平成30年度もあと40日あまりとなりました。学校では1年間のまとめとして、いろいろな取組に対してふり返りをして来年度へつなげる取組をしているところです。その中の一つに子どもたちの生活に関するアンケートがあります。【6月と11月末実施】

①学校での生活は楽しいか・・・91.3% (-3.2%)

②学級にともだちがいる・・・95.2% (-1.6%)

③休憩時や放課後が楽しい・・・100% (+1.5%)

④友だちがいじめられているのを見た・・・32.8% (+14.5%)

{言いがかり(18.5%) ひやかされ(26.1%) 持ち物隠し(21.5%) 仲間外れ(6.2%)}

⑤2学期にいじめられたことがある・・・13.5% (-5.4%)

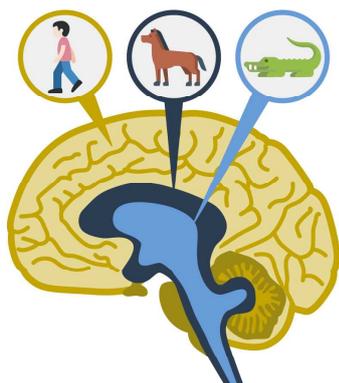
{変なことをいわれた 呼び捨てにされた むしされた なぐられた 等}

6月に比べて、いじめられているのを見た人は大きく増えていますが、いじめられたという人は減っています。いじめに関する意識が高くなっていると考えられます。気づいたことがあれば、みんなで考えられることはいいことですよね。

•爬虫類脳(反射脳)

•哺乳類脳(情動脳)

•人間脳(理性脳)



今回は、少し「脳」と「いじめ」について考えてみたいと思います。

いじめと「脳」はとっても深い関係があるといわれています。人間の脳は3つの部分でできています。一番内側は、「へびの脳」と言われるものです。息を吸ったり、ものを食べたり、おしっこをしたり、眠ったりなどの命令を体に出す脳です。この脳が働かないと、人間は生きていくことができません。へびやトカゲなどは虫類にはこの脳しかないので「へびの脳」と言われています。『命を支える脳』です。その外側は、「イヌ・ネコの脳」です。喜んだり、怒ったり、悲しんだりするための脳があります。ここがうまく働かないと、泣いたり笑ったり怒ったりすることができなくなります。犬や猫や牛などほ哺乳類の動物にもある脳

なので「イヌ・ネコの脳」と言われています。

『感情面を支える脳』です。一番外側にある脳は「ヒトの脳」です。人間だけにあり、ものを考えたり、覚えたり、言葉を話したり、勉強したりする脳です。『知恵を支える脳』です。

人はいじめられると3つの脳のある部分が弱ってきます。それは、「へびの脳」です。人はいじめられるとへびの脳が弱ってきます。悪口を言われたり、いじめや差別をされると、眠れなくなったり、ご飯を食べたくなくなったりして、生きる力がなくなっていくのです。

いじめた人、いじめられた人に話を聞くといつもある言葉から始まることが多いそうです。それは、「あほ、ばか」という言葉です。「ばか」という言葉はしばらくすると今度はある言葉に変わっていきます。それは、「死ね」という言葉です。こうなるといじめがはじまっていく可能性が高くなります。

いじめは何気ない言葉から始まっていくことが多いのです。自分たちが普段何気なく使っている言葉をぜひ振り返ってみてください。

校長 土井 安博